

いのちを守る福祉・防災都市東京へ！都政に憲法を！

都民がつくる革新都政

2013年5月15日 発行 = 革新都政をつくる会 発行人・中山 伸 〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10 東京労働会館 5F 電話 (5978) 4031 ホームページ: http://kakushintosei.org/ E-mail: info@kakushintosei.org (1部25円、送料は別途)

「東京の暮らし、いのちを守る都政学習2013」第1弾

阿部彩氏(国立社会保障・人口問題研究所・社会保障応用研究部)講演

「すべての人の暮らしを守る社会的包摂」テーマに



阿部彩氏を講師に招き、東京の暮らし、いのちを守る都政学習2013」第1弾を開催＝豊島区、2013年4月23日

- ① 人々の困難の現状
- ② 相対的貧困は問題か？
- ③ 絶対的貧困から相対的貧困へ、貧困から社会的排除へ
- ④ 社会的包摂という考え方
- ⑤ 格差が社会的排除を生む

革新都政をつくる会は、深刻な貧困と格差の拡大、雇用破壊、仕事の激減、孤立死、生活保護の拡大、医療費の値上げや保育・特別養護老人ホームの待機者(児)の増大の中で、都民のいのちと暮らしを打開する政策の練り上げ運動を進めています。しかし、これらの問題の要員や実態は、隠れたままになっており、しっかりとつかまれている。江さん(新婦人本部)に司会を進行しました。

講演・学習会は、油原通江さん(新婦人本部)に「日本に貧困はない」とする日本政府がやってこなかった貧困率の推定を13年前に始めた経緯について語りました。講演は、具体的なデータ・文献等をもとに、

開会の挨拶は、民青都委員会委員長の岩崎明日香が行い、青年の二人に一人が非正規であり、その人間性を否定する実態を告発し、講演への期待を表明しました。

司会者の講師紹介を受け、早速講演を開始した阿部彩氏は、冒頭、「貧困問題の第一人者は現場の人々であり、自分は、あえていえる『貧困率を計算する第一人者』と述べることも、

参加者からの質問も「住宅についての貧困率は？」、「外国からの移民の増加」「社会的包摂とは？」、「貧困の『川上』対策と『川下』対策」など多岐にわたりました。質疑の最後に阿部氏は、日本全体の貧困対策として財政的には広げられない中で、戦略が必要と述べ、優先順位として「子どもの貧困対策」を強調しました。閉会にあたって、東京地評の伊藤潤一議長が挨拶し、雇用問題にとりくみ、暮らしをまもるたたかいはすすめる労働組合としても「社会的排除」など大変重要な視点をいただいた。今後の活動に生かしたいと決意を述べました。

すべての人が承認される社会へ 格差社会抗う努力を あらゆるレベルで！

暮らし・いのちを守る東京へ、憲法を都政に！ 都議選、参院選を目前に激しい政治情勢の中、都民・国民のいのちと暮らし、福祉と社会保障問題の打開は待たなす。都政転換をめざす革新都政をつくる会は、政策活動の一環として、「東京の暮らし、いのちを守る都政学習2013」を開始しました。

その第一弾として、阿部彩氏(国立社会保障・人口問題研究所、社会保障応用研究部長)を講師に招き、講演・学習会を4月23日(火)午後6時半より、豊島区民センターで開催しました。

⑤ 貧困に対する政策

の内容で豊かな研究、政策立案の活動を踏まえて報告しました。

最後に、阿部氏は、「わたしたちが意図しなくとも(格差)社会は『社会的排除』へと人を追い込む。ひたすら努力をあらゆるレベルで行うこと」とのべて、すべての人が承認される社会をもとめることを強調しました。

参加者からの質問も「住宅についての貧困率は？」、「外国からの移民の増加」「社会的包摂とは？」、「貧困の『川上』対策と『川下』対策」など多岐にわたりました。質疑の最後に阿部氏は、日本全体の貧困対策として財政的には広げられない中で、戦略が必要と述べ、優先順位として「子どもの貧困対策」を強調しました。閉会にあたって、東京地評の伊藤潤一議長が挨拶し、雇用問題にとりくみ、暮らしをまもるたたかいはすすめる労働組合としても「社会的排除」など大変重要な視点をいただいた。今後の活動に生かしたいと決意を述べました。

仕組を変えていかねばならないと思つています。「労働組合は、社会保障制度に関する運動をしなければ発展しない」などの感想も多彩に寄せられました。

=5月発行(予定) 革新都政をつくる会編=

都政黒書 2013

どうなっている東京都政

第1編 東京の福祉を検証する

東京都制度は発足してから70年。都政は見えにくいといわれていますが、現在の都政はどうなっているのか、都民の立場から深く検証することが求められています。都政の主な分野をシリーズで検証していきます。第1弾として、地方自治体として最も大切な事業である福祉の分野を検証します。

都議会第2回定例会開会日 “都庁行動”へ参加を

都議会議員選挙を目前にした第2回定例会が6月3日から6月7日の予定で開催。都民のいのちと暮らしを守る切実な要求の実現する都政へ！

★ 6月3日(月) ★

8:00~9:00 都庁早朝宣伝《革新都政をつくる会》

12:10~12:45 都庁前昼行動<都庁第一庁舎前> 主催: 都民連、東京社保協、東京地評

*** 青い空 ***

前任者に続き、言動が物議をかもし人だ。猪瀬都知事のこゝとである。アメリカニューヨークタイムズ紙(4月27日)のインタビューでの発言、「イスラム諸国はけんかばかりしている。「トルコの人も長生きしたければ、日本のような文化をつくるべきだ。」が、五輪招致をめぐるIOCの行動規範に抵触。と報じられた。その後もツイッターで、「今回の件で誰が味方が敵か、よくわかったのは収穫でした」とつぶやいたという▼失言撤回と謝罪に躍起だが、本心はどこにあるのか語るに落ちたと言えらう。他国の人と文化と宗教に敬意を払わない人にオリンピックを主催してほしくない。ほんとうは都知事の資格すら問われる発言だろう▼首相の発言も問題だ。緊張が高まっているから、今、国防軍だ。集団的自衛権だ。といい、閣僚が靖国神社に参拝する、このことが緊張を高めていることを見抜きたい▼6月の都議会議員選挙の告示が目前、続いて7月には参議院選挙も行われる。沖縄を切り捨て、アメリカに軍事も、経済も従属の道を選択した1952年4月28日を「主権回復の日」といつて祝うところまできている。憲法にまで手をつける「逆コース」をゆるさないとしたかな選択を。(の)



—2012年都知事選総括—

4月5日、団体・地域代表者会議 各代表13人から活発な発言

革新都政をつくる会は、4月5日(金)エデュカス東京で、都知事選を総括し、さらに、猪瀬都政3カ月から見えてくる都政運営の特徴、都議会第1回定例会の施政方針と論戦、新しい都民運動の広がり、猪瀬都政の下、新たな都政転換のたかひをめざす「2013年団体・地域代表者会議」を開催しました。会議には、各団体・地域から75名が参加し、都知事選で大奮闘した宇都宮健児氏が挨拶しました。〈13年4月・362号既報〉

都知事選・総選挙から3カ月、新たな情勢のもとでの13春闘、都民要求実現等のたたかひの中で、ホトムアップで論議してきた都知事選総括案のもとに、団体・地域の代表13人から活発な発言がありました。その発言の要旨を以下の通り掲載いたします。



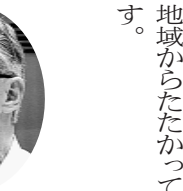
福祉保育労働者 米英明さん

石原辞任の翌日に談話を発信し、宇都宮さんの立候補表明直後に、支持決議を行いました。都知事選をたかひの8年ぶり。結果は、残念でしたが、今回のたたかひの中で、学んだこと・取り組んだことを運動の跳躍台にしていきたい。同時に、大同団結することの意義深さと難しさを感じました。押さえていかなければいけないポイントは何かをしっかりと持ちながら、従前運動に満足せず、貪欲に幅を広げていきたいと思っています。



東京自治労働者 田川英信さん

非常に難しい選挙だったという思いを持っていました。宇都宮さんが出ていたので、様々な立場の方と一緒にたたかえたのは、よかったです。たかひ、常にもむずかかった。要求が一致すればたかひという意識が、今回たかひの人たちみんなの中に一致できていけばいいのですが、選別というか、差別というか、そういったものがありました。また、確認団体とたかひの方については、もたないかと思っています。



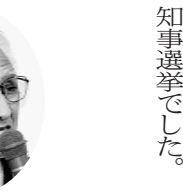
年金者組合 杉山文一さん

都知事選挙を要求選挙としてたたかいました。必勝を目指し年金者ニュース号を1万人に渡し、対話・支持拡大の目標をたてて頑張りました。宇都宮さんに東京高齢者の集いに来ていただき4つの政策について話してもらいました。果敢でも大変面白い宣伝ができました。



東中労働者 中澤誠さん

「総括」は、言葉は慎重に選びながらとてもいい総括だと思っています。東中労働者も、宇都宮さんが立候補を表明してすぐ翌日に執行委員会をひらいて、上部団体がクリア策、推薦をするという決議をしました。そこが長かったですね。しかも築地に入ってくれないという運動ができませんでした。何とか顔をだしたいという思いがありました。築地市場の移転反対運動も、もう一回たかひあげようと思っています。広がりを経験させてもらってありがとうございます。



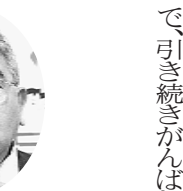
障都連 小林良廣さん

宇都宮さんが決まった時に、本当はとしました。それからが大変です。障がいをもった方たちは、選挙のときは本当に大変な思いをしています。それでも自分たちの要求を実現させよう、という一人一人を動かしています。これからもこの会の一員として、みなさんと一緒に頑張っていきたいとおもいます。



都教組 木下雅英さん

有識者40人の「都政に何を求めるか」に心をふるわせ、宇都宮さんの立候補に勇気づけられて、奮闘しました。とりわけ青年組合員が職場で立ち上がった、対話を広げたというのが特徴的でした。東京は、まだに競争と格差の教育が続けられて、子どもたちが苦しめられています。子どもと教育を守るためには、何とかも国政・都政を変えなければなりません。子どもたちを再び戦場に送るなど、この教職員組合の原点を、今こそ示す時だと思っています。



顧問 吉田万三

今日の政治情勢に照らして、今回たかひの都知事選の歴史的意義、これは非常に意味のある重要なたたかひだと思います。この成果を大事にして、さらさらいろいろな弱点もあるし、うまくいかないこともありますが、これを大事にわたしたちのこれからのたたかひにつなげていく、このことが必要だと思っています。【文責・事務局】



東京民医連 小嶋博之さん

宇都宮さんの立候補と「四つの柱」は、私たちの腹にストンと落ちたという感じでした。「反貧困弁護士と東京を変えよう」「脱原発宣言を東京から」の宣言が大好評、今までにない取り組みになりました。今回の選挙は、新しい市民の共闘の選挙でした。私たちは、それを財産にしていかなければならないと思っています。



新婦人 都本節子 新油原通江さん

宇都宮さんで今度こそ都政を変えたいと、立候補表明を心から歓迎しました。しかし、支持を決定するまで時間がかかって、初めての共同の形態でのたたかひがこんなにも大変なことなのかと、改めて実感しました。しかし、決まれば必ず立ち上がるのが新婦人です。一気に動き出しました。今回の選挙で実感したのは、都政に向けての運動を日常的に広げること、目に見える運動をすすめることの大事さです。草の根から、



東視協 織田津友子さん

私たちの選挙スタイルは、演説会に行ってお話をしっかりと聞くこと。それから電話で支持を呼びかけるということを、いつもやっています。私たちは、革新都政を取り戻したいと強く思っています。今回も宇都宮さんもちろん応援しました。私たちが皆に知らせる手立ては、頂いたチラシを点字にしなければ届けられません。もっと早く決めてほしい、そして日常的な活動をしてほしい。そうなどいふ会員に伝わりません。



新婦人 杉並 木村ひろみさん

新婦人は、今とはとても元気です。宇都宮さんという素晴らしい候補者を迎えて、名前がかけたのは私の喜びでもあります。杉並のことも語ると、何となく一昨年からの脱原発のことなのかなと思います。それで今回の選挙ほど組織が邪魔だなど思ったときもあるし、でも組織の大事さもわかったし、革新都政をつくる会というのは私の中では化石のような名前です。でも今回の選挙は楽しく、いろいろな人とつながれた都



三多摩連絡会 水島正明さん

今回の総括の中では、新しい共同ができた、共同の広がりができた。そういうものは財産になっている。こういう幅広い共同を会として、是非追求し続けていきたいと思います。これからは、一人一人と対話しながら、都政の問題をみんなのものにしていく。猪瀬に入れた4人、積み重ね、宣伝を広げ、一若者の雇用の問題は、解決が急務になっています。不安というだけでなく、一人の人間として当たり前に生きたいという切実な願いなのです。都議選・参院選



民青 岩崎明日香さん

これまで、取り組んできた若者の雇用の問題、原発の問題で若者が希望をもてる東京をつくらうというアピールを大会で採択。そして、街頭でも職場でも訴えて宇都宮さんの支持を決定して、街頭でも職場でも訴え、楽しくたたかえました。若者の雇用の問題は、解決が急務になっています。不安というだけでなく、一人の人間として当たり前に生きたいという切実な願いなのです。都議選・参院選



TPP 参加をとめる!
5・25大集会会

私たちには害ばかり。
参加撤回の決断はいま!

5月25日(土) 芝公園 23号地
(東京プリンスホテル裏)

12:00～イベント 音楽ライブなど
12:30～集会 各界・各分野、地域からのアピール
国会議員のアピール、金子勝さん(慶大教授)他
13:45～デモ出発 銀座～東京駅～鍛冶橋
(呼びかけ) STOP TPP!! 市民アクション



で、引き続きがんばります。

4月～6月地域運動強化期間 地域から悪政反対の 世論高める

東京地評

6月の都議選は、猪瀬都政が誕生して初めての選挙であり、都議会(会派)の勢力図が今後の都政を左右することになります。同時に、今回の都議選は、憲法改悪の要求を掲げて運動を展開します。

猪瀬都政の誕生は、社会保障、TPPと労働分野の規制緩和(金銭解雇の法制化など)、原発などの国民的課題と地域課題について、労働者と住民の要求を掲げて運動を展開します。一つの柱は、宣言の強化です。都内の全地域で、消費税と社会保険を中心とした毎月24日の定例宣伝を、複数の駅前で行なうことも模て行なうことも、憲法の「9の日の開争」と呼ばれ、地域の諸団体の共同とりくみのための協議、調整が意欲的にすすまれています。「地域運動強化期間」で、憲法と平和、消費税と、商店街や団地で

の宣伝・署名活動などを計画する地域もあり、画する地域もありません。最大級の宣伝活動になります。夜間、税となれば、消費増税不況に、地域での要求運動の強化に全力をあげます。【東京地評・井手口行夫】

開催です。提灯デモや光のパレードで都民に大きくアピールしていきます。春闘の中間集計では、昨年を209円上回りました。猪瀬都政の暴走にストップをかけ、反転攻勢に転じる展望を切り開いていくために、地域での要求運動の強化に全力をあげます。

なることは目に見えています。憲法改悪も風雲急を告げています。東京地評は、安倍内閣と猪瀬都政の暴走にストップをかけ、反転攻勢に転じる展望を切り開いていくために、地域での要求運動の強化に全力をあげます。【東京地評・井手口行夫】



くらしと雇用・憲法・平和守れのとりくみ

4月28日、「安保条約廃棄・真の主権回復を求める国民集会」(労組・民主団体・政党など9団体の呼びかけによる)が都内で開かれ、日米安保条約による主権の侵害、沖縄の植民地的実態を告発し、安倍内閣の改悪策動と一体となった政府式典に抗議するために開かれ、会場には600人が上回る人が参加。【写真①】5月1日、賃上げや安定した雇用の実現、消費税増税や環太平洋連携協定(TPP)参加阻止、憲法改悪反対などをかけて、第84回メーデーが全国で開かれ、代々木公園で開催された中央メーデーには2万1000人が参加。【写真②】5月3日、憲法記念日の3日、全国各地で憲法を守り生かそうと集会所が取り組まれ、東京では、「5・3憲法集会2013」が日比谷公会堂で開催され、「生かそう憲法 輝け9条 あらゆる憲法改悪を許さず、今こそ平和といのちを尊重する社会へ」の集会アピールを採択。3500人が参加、銀座パレードが行われた。【写真③】5月6日、「核兵器のない世界、憲法9条と非核三原則の輝く日本へ」をスローガンに「原水爆禁止国民平和行進2013」(東京一広高コース)が江東区の夢の島から出発。1200人が参加。「核兵器のない世界をつくろう!被爆者の思いを受け継ごう!いいね」と唱和し、都内を行進。【写真④】

なんとかしようよ!東京都政! くらしの場から声あげて子育ても 老後も働いても「もっと安心、いい」に!

「認可保育園を増やして、子育ても老後も働いても『もっと安心、いい』に!」
「くらしの場から声あげて子育ても老後も働いても『もっと安心、いい』に!」
「くらしの場から声あげて子育ても老後も働いても『もっと安心、いい』に!」
「くらしの場から声あげて子育ても老後も働いても『もっと安心、いい』に!」
「くらしの場から声あげて子育ても老後も働いても『もっと安心、いい』に!」

女性を政治に届け、子育て・老後も「くらしの場」から声あげたい アンケート
都政「私に言いたい」アンケート
2013 私が選ぶ 女性の声を政治に届け、子育て・老後も「くらしの場」から声あげたい アンケート
都政「私に言いたい」アンケート
2013 私が選ぶ

「もっと安心、もっといい」に!
くらしの場から声あげて子育ても老後も働いても
原案ゼロ東京から発信!
放射能から子どもを守って!
オリンピック招致の裏に
どの子どもも大切に
新日本婦人の会【新婦人】とは

平気ですか? もし、あなたが、子どもが戦争に行く国になっても...
STOP 憲法9条「改正」! STOP 戦争する国!
都民のための「都政」をしていません。
えっ!? 働く人を自由にクビにでき、不払い労働を合法化する法律をつくるってホント?

東京地方労働組合評議会 TEL 03-5395-3171 FAX 03-5395-3240

首都直下地震

あらたな東京地域防災計画を考える⑤

未体験の
都市型スーパー災害

首都直下地震と東海、東南海、南海の連動地震の逼迫が指摘されています。

今回は、被害想定や防災計画が検証と対策を多上げしている大都市固有の課題、とりわけ、都市構造に着目して考えてみたいと思います。

一極集中のゆがみ

首都東京の地震災害の脆弱性の根本には、国や東京

都がすすめてきた東京・都心一極集中がもたらすゆがみがあることを指摘しなければなりません。たとえば、東京には、全国の人口のほぼ一割、1300万人が集中しており、近年の地方の疲弊・衰退のもとで東京への人口集中は加速されています。

また、東京には上場企業の本社の49・4%が集中。区部での就業者数は664万人に達しています。このうちほぼ250万人は、都外からの通勤者都民で占められています。

また、東京には上場企業の本社の49・4%が集中。区部での就業者数は664万人に達しています。このうちほぼ250万人は、都外からの通勤者都民で占められています。



丸の内・丸ビル（手前）、新丸ビル（奥）

ロンドンの24倍にも達する想定が被害を数量的に検証しているのは、建物(家屋)の倒壊と火災延焼による被害に限られ、超高層ビルや

安保 佳代子

(杉並区在住・
保育待機児当事者)

昨年7月、待望の第一子が産まれました。初めての育児は想像以上に大変でしたが、夫と協力しながら子育ての幸せを感じてきました。仕事はアパレルメーカーのチーフデザイナーで、職場は私を待ってくれています。4月から保育園に預け、仕事に復帰する予定でした。しかし、入園申請の結果はまさかの不承諾。本当にショックでこれからどうしたらいいのか不安と焦りに襲われました。夫婦共働きフルタイムでまさかという甘さは正直ありません。直後から認可外保育所

都政にしっかり働きかける 子の成長にも安全面でも 安心して預けられる認可保育園を



に電話をかけ始めるも、どこも何人待ち、中には200人待ち。杉並区は第一次選考で2968名の入園希望者にたいし、約1800名が認可保育園待機児となりました。

私は、結局育児を2ヶ月だけ延長してもらい、その後も保育園を探し続けました。幸いにも認可外の保育園に7月から入園できることになりましたが、そこはなんとひと月11万2千円！それでも自分がホッとしていれることにこの社会のおかしさを感じます。今の仕事が好きなのに、入園が決



まらなかつたら仕事を辞めようかという考えが頭をよぎりました。そのことにとても悔しく思いました。そんな杉並区の実態に、もう我慢できないと抗議の声が上がりました。保育園増やし隊@杉並というグループが立ち上がり、抗議行動を行うと聞き、このままではいけないと、参加しました。抗議行動には50人近いママやパパが集まり、皆涙ながらに訴え、杉並区は緊急保育プランを出すなど動き始めています。でも、保育園待機児が社会問題として広がる中、都

繁華街、地下街、雑居ビル、の超高層ビルの床面積は新宿区の行政面積に匹敵するの被害についてはまともな検証も数値化もおこなわれていませんし、当然のように防災計画でも事実上、タナ上げとされているので

① 超高層ビル

現在、都内には、100層を超える超高層ビルが4百棟を超え、規制逃れの99層クラスの超高層ビルも30棟を超える規模となつてい

このうち、石原都政以後に建設された100層以上の本木ビルズのエレベーター

五輪招致で

猪瀬都知事他候補地屈辱発言

2020年夏季五輪招致を目指す東京都の猪瀬直樹知事が、ライバルのイスタンブール(トルコ)を批判した問題について、「異議あり!」と発言し、

「異議あり!」と発言し、



2013年5月8日

＝声明＝

猪瀬東京都知事のイスタンブール批判の発言に抗議し
東京招致辞退を求めます

「異議あり! 2020年オリンピック東京招致」集会実行委員会

猪瀬知事が2020年オリンピック開催候補都市であるイスタンブールを批判した発言をおこなったことが、4月26日のニューヨーク・タイムズ(電子版)に報道され、猪瀬知事自身がそれを認めた。

猪瀬知事は「イスラム教国が共有するのはアラブだけで、互いにけんかしており、階級がある」「トルコの人々も長生きしたいなら、日本でわれわれが持つような文化を作るべきだ。若者が死んだらあまり意味がない」と発言しました。これは明らかにトルコと異なる文明や途上国を見下し差別する傲慢な態度を示す発言です。

こうした知事の発言は、イスラムに対する無知と偏見が背景にあるのではないかと疑わざるをえません。それにとどまらず知事の発言は、トルコをはじめ世界中の人々から、日本国民はイスラムに対して偏見を持っていると受け止められてしまうのではないかと強く懸念します。

さらに知事は、「選手にとって一番いい場所はどこか。インフラが整っておらず、洗練された施設もない2つの国と比べてください。」と、マドリッドに対して批判の矛先を向けました。

こうした猪瀬知事の今回の発言と行動は、「友情、連帯そしてフェアプレーの精神に基づく相互理解、人種、宗教、政治、性別、その他の理由に基づく国や個人に対する差別はいかなる形であれオリンピック運動とは相容れない」というオリンピックの根本原則を踏みにじるものといわねばなりません。

さらに猪瀬知事の発言は、互いに誹謗、中傷することはもちろん他の立候補都市との比較をすることも禁じているIOCの立候補都市の行動規範に明確に抵触しています。このルールを立候補都市の最高責任者が自ら踏みにじたことは、立候補都市としての基本的な資格に欠けるといわねばなりません。

私たち「異議あり! 2020年オリンピック東京招致」集会実行委員会は、そもそも他国への差別、蔑視発言を繰り返してきた石原前都知事の体質はオリンピックの精神とは相いれないことを指摘してきましたが、石原前都知事を継承した猪瀬知事のもとでも全く同様であることが明らかになりました。

私たち「異議あり! 2020年オリンピック東京招致」集会実行委員会は、招致責任者の猪瀬知事のオリンピックに対する姿勢が明確になった今、直ちに立候補を取り下げ、改めて、IOCをはじめ、世界のオリンピック関係者、アスリートに対して、謝罪することを強く求めるものです。

し、東京招致辞退を求める」
声明(全文別掲)を発表し、

4月30日の記者会見で謝罪したとはいえ、五輪招致

責任者である猪瀬知事の資

質に、正面から疑問をつき

つけられました。今年1月

和をかもし出す場がオリ

匹克です。

た際の記者会見で、猪瀬知

事は「途上国は先進国のモ

デルを追いかけたいとはい

い」と言い放ちました。

経済の規模に関係なく、

人種や肌の色、文化の違い

を超えて交流し、友好と平

和をかもし出す場がオリ

匹克です。

た際の記者会見で、猪瀬知

事は「途上国は先進国のモ

デルを追いかけたいとはい

い」と言い放ちました。

経済の規模に関係なく、

人種や肌の色、文化の違い

を超えて交流し、友好と平

和をかもし出す場がオリ

匹克です。